



ほろいずみ ニュース No. 141

発行: えりも町郷土資料館ほろいずみ・水産の館 発行日: 令和元年5月8日
〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜207番地
TEL: 01466-2-2410 E-mail: erimomus@cocoa.ocn.ne.jp
<http://www.town.erimo.lg.jp/horoizumi/>

◆ 体験陶芸教室 ◆



と き : 5月13日、20日、6月3日 毎週月曜日

時 間 : 午前の部 9時30分～12時

夜の部 18時30分～21時

参加費: 粘土1kgにつき500円(1人2kgまで)

(黒粘土は600円)

定 員 : 15名(先着順)

※参加申込、お問合せは

郷土資料館(2-2410)まで

各自湯のみ、お皿、マグカップなど！
好きなものを作しましょう！

アイヌ語de動植物⑳ ～ イラクサ ～



エゾイラクサは高さ80cm～2mにもなるイラクサ科の植物です。

茎葉に生えているトゲは蟻酸やヒスタミンという成分を含み、ふれると痛痒くなるため「痒草（かいぐさ）」と呼ぶ地域もあります。ゆでると痛痒さは感じなくなるため、山菜として利用されています。

アイヌの人々は、イラクサの茎から繊維を採取しました。秋に枯れ茎を刈取り、2～3日乾燥させます。乾燥したら皮をはぎ、束にして先端を縛ったものを揉んで外側の固い皮を落としていくとやわらかい繊維が残ります。

とれた繊維を陰干しして、霜に2～3回さらすと丈夫になります。

この繊維を利用して糸や紐を作り、荷縄を編んだりもしたそうです。

参考：

『アイヌ語で自然かんさつ図鑑』(帯広百年記念館)
『アイヌ語の動植物探集』川村正一編11

◆ 八十八夜 ◆



八十八夜は立春から数えて88日目。農事にとっては重要な日とされ、5月2日頃を指します。八十八夜は「霜の最後の日」です。この夜を過ぎると、降霜の心配がなくなるとされています。

八十八夜は茶摘みの季節でもあります。この日前後から、1番茶、2番茶、3番茶、4番茶まで摘まれます。

近年は農業従事者の高齢化や、機械化されたことにより「茜たすきに菅の笠」の風景は見られなくなりました。

お茶の味は早く摘まれたものほど上等とされ、八十八夜の新茶は「長命新茶」と呼ばれています。



5/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
○	○	ゼニガタ アザラシ 観察会	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	体験 陶芸 教室	休館日	○	○	○
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	6/1	2	3
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
わら しゃん ど	生き物 調査隊	体験 陶芸 教室	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	体験 陶芸 教室

5月～6月の
開館カレンダー